

Satsuma

海外で愛された薩摩様式のやきもの

サツマの輝き



【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】毎週月曜日（祝・休日の場合開館、翌平日休館）
夏期休館（8月13日（火）～16日（金））

【入館料】一般1000円（800円）、高・大学生・シニア65歳以上800円（600円）、
中学生600円（400円）、小学生以下無料

*障がい者手帳をお持ちの方700円 *（）内は20名以上の団体料金

【後援】愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

2024年

5月24日 金
8月25日 日



公益財団法人



横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21 TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

海外で愛された薩摩様式のやきもの

サツマの輝き



〈加賀薩摩〉上絵金彩商家図花瓶
富一郎/曼應軒 明治時代～大正時代



〈大阪薩摩〉上絵金彩人物風景図花瓶
帯山与兵衛/初代 藪明山 明治時代前期～中期



〈神戸薩摩〉上絵金彩童子図花瓶
司山 明治時代中期～後期



〈横浜薩摩〉上絵金彩武者図橋鈕蓋付壺
保土田商店 明治時代後期



〈東京薩摩〉上絵金彩観音僧侶図花瓶
成瀬誠志 明治時代前期



〈本薩摩〉上絵金彩観音像
作者不詳 明治時代後期

慶長3年（1598）、島津義弘に従った朝鮮の陶工が薩摩焼を始め、京焼などの技術を取り入れて発展します。特に白色土を用い、釉薬に細かな貫入を生じさせる白薩摩は、薩摩藩の御用品として洗練されていきました。慶応3年（1867）のバリ万国博覧会に出品された、金彩の薩摩焼は「サツマ」を欧米に広め、輸出の時代を築きます。その人気は他産地での薩摩焼素地への上絵付や、薩摩様式での生産をもたらしました。東京や横浜、九谷、名古屋、京都、大阪、神戸、長崎でもサツマがつくれ、輸出されています。西洋で語り継がれた、東の果ての黄金島伝説 — 人々はサツマに、遙か東方へのロマンを重ね合わせたのでしょうか。本企画展では当館所蔵品から、輝くサツマをご紹介します。
*都合により、展示品は変更になることがあります。



〈京薩摩〉上絵金彩牡丹武者僧侶図大花瓶
錦光山宗兵衛 明治時代中期～大正時代

関連イベント

絵付体験講座「やさしく輝く、私のうつわ」

気品ある京薩摩風のマルチボウルに、金銀彩の輝きを転写します。どなたでも、美しく仕上がります。

◎日時：2024年7月21日（日）13:30～15:00 ◎定員：20名（要事前申込）

◎申込方法：5月24日（金）よりお電話、またはメール

2017@yokoyama-art-museum.or.jp にて先着順（一般に先立ち、パスポート会員の先行受付あり）

◎参加費：一般3,800円（材料・焼成費・入館料込み）、パスポート会員2,600円（材料・焼成費込み）



イメージ（鳥獣戯画）

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

6月1日（土）、6月15日（土）、7月6日（土）
7月20日（土）、8月10日（土）、8月24日（土）

◎場所：美術館展示室

◎時間：13:30より1時間程度

*事前申込不要、要入館料

年間パスポート会員募集中!
年会費4,000円（更新3,000円）

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。

公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>



次回企画展

「華麗なる陶人形」展

2024年9月13日（金）
～12月15日（日）

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅（1番出口）徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅（3番出口）徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



特別割引
100円割引
※本企画展開催中、この割引券は特別券のみ有効です。有効期限は2024年9月22日。他館は利用不可。